

2004年1月14日

報道各位

パンパシフィック・銅株式会社

**フィリピン共和国・フレックスマイニング社からの  
高品位銅精鉱の融資買鉱について**

日鉱金属株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目、社長：大木 和雄、以下「日鉱金属」）と三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目、社長：榎原 紘、以下「三井金属」）との間の銅製錬事業推進会社である当社（本社：東京都港区虎ノ門一丁目、社長：久留嶋 毅、以下「PPC」）は、フィリピン共和国大手金・銅生産者であるフレックスマイニングコーポレーション（以下「フレックス社」）との間で、同社が現在稼働中のパドカル鉱山にて計画している鉱体下部開発（2005年末生産開始・2011年終掘予定）に対する開発資金融資、並びに同社が生産する高品位銅精鉱の長期買鉱について基本合意に達し、このほど覚書を締結いたしました。

今般、合意に達した主要事項は次のとおりであります。

- (1) 当社は、フレックス社に対し、鉱体下部開発資金として1千5百万米ドルを融資する。
- (2) 当社は、長期買鉱契約に基づき、鉱山終掘までの間、年50～70千トンの高品位銅精鉱をフレックス社から買鉱する。また対象精鉱の予想平均品位は、金 約60g/トン、銅 約25%である。（現在は、単年契約に基づく年30～40千トンの買鉱）

上記融資買鉱は、当社の銅原料調達体制を一段と強化し、当社の収益力向上に大きく寄与するものと考えております。なお、今般の基本合意は正式契約の締結・発効を条件としており、今後は、本年3月までの正式契約締結を目途に交渉を進めていく予定であります。

以 上

お問い合わせ先

パンパシフィック・銅株式会社

業務部（総務担当）村山・西野

TEL 03-5501-3326

日鉱金属株式会社

総務部（総務担当）外池・山本・檜崎

TEL 03-5573-7223

三井金属鉱業株式会社

経営企画部広報室 泥谷（ひじや）・浅木

TEL 03-5437-8028

(御参考 )

PPCの概要  
(2004年1月1日現在)

- (1) 商 号 パンパシフィック・カッパー株式会社
- (2) 本店所在地 東京都港区虎ノ門一丁目
- (3) 代表取締役社長 久留嶋 毅
- (4) 資 本 57.7 億円 ( 資本金 34.5 億円、資本準備金 23.2 億円 )  
( 出資比率 : 日鉱金属 66%、三井金属 34% )
- (5) 売 上 高 約 2,200 億円 ( 2003 年度予想 )
- (6) 従 業 員 数 約 50 人
- (7) 主な事業内容
  - ・銅鉱石の購入
  - ・委託製錬による電気銅、硫酸、貴金属、その他銅製錬副産物の製造
  - ・電気銅、硫酸、貴金属、その他銅製錬副産物の販売

( 御参考 )

## 1 . フィレックスマイニング社の概要

- ( 1 ) 社 名 Philex Mining Corporation ( フィリピン国法人 )
- ( 2 ) 本社所在地 フィリピン共和国 マニラ首都圏
- ( 3 ) 代 表 者 Chairman & CEO W. W. ブラウン氏 ( Mr. Walter. W. Brown )
- ( 4 ) 資 本 金 29.6 億フィリピンペソ ( 2003 年 9 月末現在 )
- ( 5 ) 設 立 1955 年
- ( 6 ) 従 業 員 数 約 2,900 名
- ( 7 ) 事 業 内 容 フィリピンにおける金・銅鉱山業。生産物は高金品位銅精鉱  
〔 生産量 ( 2002 年実績 ) 金 3.8 トン/年  
銅 19 千トン/年 〕
- ( 8 ) グループ主要 鉱山・鉱区
- |                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| パドカル ( Padcal ) 鉱山 ( 金、銅 )    | ( 100% 権益保有 )     |
| ブラワン ( Bulawan ) 鉱山 ( 金 )     | ( 100% 権益保有、休止中 ) |
| ボヨンガン ( Boyongan ) 鉱区 ( 金、銅 ) | ( 50% 権益保有 )      |

( 注 1 フィリピンペソ = 約 2 円 )

## 2 . パドカル ( Padcal ) 鉱山の概要

- ( 1 ) 所 在 地 フィリピン共和国ルソン島北部、バギオ市 ( マニラ北方約 200 k m ) の南東約 20km、標高 1,400m
- ( 2 ) 地 質 ・ 鉱 床 ポーフイリー 金銅鉱床
- ( 3 ) 埋 蔵 鉱 量 185 百万トン ( Au 0.56 g / トン、Cu 0.25% ) 2002 年 12 月末現在
- ( 4 ) 稼行対象鉱量 76 百万トン ( Au 0.57 g / トン、Cu 0.25% ) 2003 年 12 月末現在
- ( 5 ) 採 掘 法 坑内掘り
- ( 6 ) 生 産 量 高金品位銅精鉱量 70 ~ 80 千トン/年  
〔 精鉱中金量 : 4 ~ 6 トン/年  
精鉱中銅量 : 約 20 千トン/年 〕
- ( 7 ) 沿 革 1958 年 露天掘り採鉱開始  
1963 年 坑内掘りに移行

(ご参考 所在地)

